



農業への影響は？

自民クラブ どう取り組む？ 市の農業政策

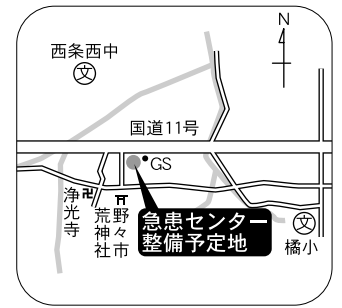
問

現在、国においては、TPP（環太平洋戦略経済連携協定）への参加について論議がなされており、TPPに参加することになれば市の農業にも大きな影響があると思うが、どの程度の影響があると想定しているのか。また、市の今後の農業政策を問う。

答

TPPに参加をすれば、食料自給率70パーセン

トを誇る県下有数の農業地帯を形成する本市農業にとって大きな影響があるものと考えている。本市農業への影響額を国の試算に準じて試算すると、西条市の年間の農業産出額（平成18年度）約150億円の約4割に相当する56億円が減少し、その内訳は、米・麦で29億6千万円、畜産で25億3千万円、果樹で1億1千万円、それぞれ減少する結果となっている。また、本市では総農家数や農業就業人口の減少が見られるなど厳しい現実があるが、「水と食」を活かした西条ブランドの創出や総合6次産業化による農商工連携などの取組が経済界から高く評価され、日本経団連が行う未来都市モデルプロジェクトの実施箇所にも本市が指定されたところであり、関係企業などと共同で西条農業革新都市の実現に向けて取組を行うなど地域資源を有効に活用した取組を鋭意進めていきたい。



西条市野々市(国道11号沿い)の急患センター整備予定地

リベラル西条 整備が待たれる 休日夜間急患センター

問

平成24年7月の開設に向けて整備しようとする急

患センターの診療科目や医師、看護師などの人員の配置、平日夜間・休日の開院時間、購入予定の医療機器について問う。

答

現在、本市の1次救急医療は、市内の医療機関が在宅当番医制で実施しているが、休日夜間急患センターを整備することで市民の利便性の向上や医師の負担軽減が図られることになる。

同センターの診療科目は、内科と外科であり、特にけがや急病などのうち、比較的症状の軽い患者について応急診療を行うものである。人員の

配置については、現在検討中であるが、医師や看護師、事務員などの配置を予定している。開院時間は、平日夜間は午後7時から午後10時まで、休日は午前9時から午後6時までを基本に、医療機器の具体的な導入も含めて、今後、関係機関と協議を行いながら、開設に向け準備を進めたい。

市民クラブ

愛媛国体開催に向けた施設整備の取組は？

問

愛媛国体については、本市で5種目の競技を実施

することが内定しているが、使用が予定される競技会場は現状のままでは不備な点もあり、整備が必要である。施設整備には多額の財政負担が必要となるが、現時点での考え方や取組姿勢について問う。

答

本市で開催が内定している競技種目はハンドボールの成年男女・サッカーの少年男子・軟式野球の成年男子・ソフトボールの少年女子・山岳の全5種目である。

これらの競技会場となる施設の整備については、平成23年度から、日本ハンドボール協会、日本サッカー協会、全日本軟式野球連盟、日本ソフトボール協会、日本山岳協会各中央競技団体による会場視察が行われるが、施設整備に関し指摘を受けた内容について今後の整備計画を策定し、その計画に基づいて改修整備を行いたい。また、競技施設については、平成27年度までには整備を完了し、平成28年度に開催されるリハーサル大会に向け、受け入れ準備を進めていきたい。

